

全国高等农业院校试用教材

# 基础日语

下册

吉林农业大学等编

畜牧兽医专业用

农业出版社

全国高等农业院校试用教材

# 基础日语

下册

吉林农业大学等编

畜牧兽医专业用

农业出版社

**主编：吉林农业大学 陶尧遵**

**编者：黑龙江八一农垦大学 刘淑梅**

**东北农学院 孟庆增**

**吉林农业大学 陶尧遵**

全国高等农业院校试用教材

**基础日语**

下 册

吉林农业大学等编

农业出版社出版（北京朝内大街130号）

新华书店北京发行所发行 农业出版社印刷厂印刷

787×1092毫米 32开本 10.5印张 200千字

1983年7月第1版 1983年7月北京第1次印刷

印数 1—4,200册

统一书号 9144·30 定价 1.10元

## 序 言

本书是按照1978年5月在东北农学院召开的全国高等农业院校《基础日语》(下册)教材编写会议上制定的编写大纲编就的。编写工作始于1979年3月,几经修改,1981年3月脱稿。

本书供畜牧兽医专业用。通过对本书的学习,基本上能阅读日文畜牧兽医书刊。

全书共15课,需讲授90学时。讲读课文中约900生词。每课分讲读课文、生词、课文注释、语法、惯用型、阅读课文(附注释及生词)和练习七个部分。课文内容包括动物生理、饲料卫生、饲养管理、育种、内科、外科及传染病等。语法方面,系统讲授句法。每课均有惯用型讲解。阅读课文可供教师选讲或学生阅读。

编写过程中,有关兄弟院校教师,特别是张久柱、梁毓环同志,提供了许多珍贵意见,对提高本书的质量起了很大作用,特致深切的谢意。

为提高本书质量,编者尽了很大努力,但因水平有限,书中不当之处,仍在所难免。希兄弟院校师生,在使用过程中给予批评指正,以便修订提高。

编 者

1981年3月于长春

# 目 录

## 第一课

讲读课文：酵素と代謝	1
语 法：惯用型概述（1）	
——意义、接续、分类	6
惯用型：一、「…そのもの…」	10
二、「…において（も）…」	11
三、「…による…」	11
四、「…における…」	12
五、「…をもとにして…」	13
六、「…ばよい（いい）」	13
阅读课文：呼吸と発酵	14

## 第二课

讲读课文：血液	23
语 法：一、文语否定助动词「ず」	28
二、惯用型概述（2）	
——分类（续）	29
惯用型：一、「…にたいして…」	32
二、「…と同じように…」	33

	三、「…において（は、も、の）…」…33
	四、「…のに…」…33
阅读课文：	赤血球…34

### 第三课

讲读课文：	栄養素の吸収…43
语    法：	句子成分（1）
	一、主语的概念和表示法…48
	二、谓语的概念和表示法…50
惯用型：	一、「…について（は）…」…51
	二、「…にすぎない」…52
	三、「…にあたり…」…52
	四、「…と考えられている…」…52
阅读课文：	炭水化物の吸収…53

### 第四课

讲读课文：	栄養障害…61
语    法：	句子成分（2）
	三、宾语的概念和表示法…66
	四、补语的概念和表示法…67
惯用型：	一、「…とは…を言う」…69
	二、「…とはいっても…」…69
	三、「…とは限らない」…69
	四、「…と共に…」…70
阅读课文：	大腸の消化作用…70

## 第五课

讲读课文：蛋白質とその欠乏……………79

语 法：句子成分（3）

五、定语的概念和表示法……………83

六、状语的概念和表示法……………85

惯用型：「…とよい（いい）」……………87

阅读课文：炭水化物とその欠乏……………87

## 第六课

讲读课文：家畜の概念・種類……………93

语 法：一、副助词「のみ」……………98

二、形式体言「こと（结句）」……………99

三、单句……………100

惯用型：一、「…通り（に）…」……………100

二、「…のみならず…」……………101

三、「…だけでなく…」……………101

阅读课文：家畜の用途……………102

## 第七课

讲读课文：哺乳子豚の管理上のポイント……………107

语 法：一、接续助词「のに」……………113

二、复句（1）

——包孕句……………114

惯用型：一、「…ことになる」……………115

二、「…上で…」……………115

三、「…はもちろんのこと…」 ……	116
四、「…と思われる」 ……	116
五、「…ように…」 ……	116
六、「…より…の方が…」 ……	117
阅读课文：子豚の貧血とその他 ……	117

## 第八课

讲读课文：家畜の育種 ……	123
语 法：复句（2）	
——主从句 ……	129
惯用型：一、「…てから…」 ……	132
二、「…に基づいて…」 ……	132
三、「…を…とする」 ……	133
四、「…なくてはならない」 ……	133
五、「…にわたって…」 ……	133
六、「…に伴って…」 ……	134
七、「…に従って…」 ……	134
阅读课文：種畜の選抜 ……	135

## 第九课

讲读课文：牛 ……	141
语 法：一、比喻助动词「如し」 ……	147
二、复句（3）	
——并列句 ……	148
惯用型：一、「…に比べ（て）…」 ……	149

二、「あまり…ない」…………… 149

阅读课文：パークシャー…………… 149

### 第十课

讲读课文：鶏の飼養管理…………… 155

语法：推量助动词「べし」…………… 163

惯用型：一、「…にかぎらない…」…………… 164

二、「…わけではない」…………… 164

三、「…にある」…………… 165

四、「…にちがいない」…………… 165

五、「…上に…」…………… 165

六、「…わけである」…………… 166

阅读课文：採卵鶏…………… 166

### 第十一课

讲读课文：創傷…………… 173

语法：句子的特殊成分（1）

——独立语和提示语…………… 179

惯用型：一、「…か否か…」…………… 181

二、「…ものである（ものだ、ものです）」…………… 181

三、「…といえは…」…………… 181

四、「…がちである」…………… 182

五、「…てはならない」…………… 182

六、「…こと（の）が望ましい」… 183

阅读课文: 創傷性角膜炎·····	183
<b>第十二课</b>	
讲读课文: 病畜の看護·····	192
语    法: 句子的特殊成分(2)	
——同位语、对象语和接续语·····	198
惯用型: 一、「…身につける」·····	199
二、「…物をいう」·····	200
三、「…だけに…」·····	200
阅读课文: 病畜の早期発見·····	200
<b>第十三课</b>	
讲读课文: 免疫とは·····	208
语    法: 句子成分的正常位置·····	214
惯用型: 一、「…ほか(に)…」·····	217
二、「…わけにはいかない」·····	217
阅读课文: 免疫について·····	218
<b>第十四课</b>	
讲读课文: 家畜の伝染病·····	226
语    法: 一、句子成分的倒序·····	233
二、使役助动词「しめる」·····	235
三、接续助词「つつ」·····	236
惯用型: 一、「ややもすれば(ややもする と)…」·····	237
二、「…風に…」·····	238

三、「…てよい」……………	238
阅读课文：伝染病の予防……………	239
<b>第十五课</b>	
讲读课文：鶏コレラ……………	247
语    法：一、句子成分的省略……………	257
二、提示助词「さえ」……………	258
惯用型：一、「…と思ううちに(と思うと)…」	259
二、「…方がよい」……………	259
阅读课文：日本で発生した牛のヨーネ	
病について……………	260
总词汇表……………	269

## 第 一 課

讲读课文：酵素と代謝

语 法：慣用型概述（1）

——意义、接续、分类

慣用型：一、「…そのもの…」

二、「…において（も）…」

三、「…による…」

四、「…における…」

五、「…をもとにして…」

六、「…ばよい（いい）」

阅读课文：呼吸と発酵

### 讲 读 课 文

#### こ う そ た い し ゃ 酵 素 と 代 謝

すべての生物の細胞において、生命の維持、生存、発  
育、増殖など細胞のあらゆる活動は、それぞれ酵素による  
複雑な反応系でおこなわれる。酵素反応は化学反応そのも  
のであつて、細胞におけるすべての活動はまた直接間接

にある化学反応に<sup>かんれん</sup>関連することができる。細菌細胞<sup>さいきん</sup>においてもその例外<sup>れいがい</sup>ではない。細胞がおこなうこのような化学反応を代謝という。

代謝により、細胞はまず自分が<sup>りよう</sup>利用しようとする物質（<sup>きしつ</sup>基質と<sup>と</sup>呼ばれる）を、小さくてしかもより<sup>かんたん</sup>簡単な<sup>どうぞう</sup>構造の分子にし、ついでこの分子をくみあわせて、自分自身の<sup>じぶん</sup>自身の<sup>ほ</sup>補修や新しい細胞をつくるのに必要な成分をつくりあげる。すなわち、細胞の代謝は二つの過程にわけられ、第一の過程を<sup>たいい</sup>分解、第二の過程を<sup>たいい</sup>合成という。たとえば大腸菌はアンモニウム<sup>えん</sup>塩、ブドウ糖<sup>とう</sup>および多少の<sup>たしやう</sup>塩類を加えたで<sup>かんたん</sup>く簡単な<sup>どうせい</sup>合成培地（タンパクをまったく<sup>ふく</sup>含まない培地）で<sup>ぞうじよく</sup>増殖できる。これはアンモニウム塩およびブドウ糖を<sup>せんしや</sup>分解し、前者の<sup>ちつそ</sup>窒素および後者の<sup>たんそ</sup>炭素をもとにして、これらから自身の<sup>じしん</sup>タンパクを<sup>どうせい</sup>合成するからである。

分解、合成はすべて酵素の作用によっておこなわれるが、<sup>たんどく</sup>酵素<sup>しんこう</sup>単独では進行しない。細胞が代謝という<sup>しごと</sup>仕事をす<sup>みつ</sup>るためには、<sup>えんそく</sup>酵素、<sup>びたみん</sup>ビタミンおよび<sup>えねるぎー</sup>エネルギーの<sup>みつ</sup>三つの<sup>よう</sup>要素が<sup>ひつよう</sup>必要である。細胞をミキサーにたとえてみよう。ミキサーでジュースをつくるには<sup>くだもの</sup>果物をミキサーの中にいれ、<sup>でんき</sup>電気を通じて<sup>かいてん</sup>モーターを<sup>かいてん</sup>回転させなければならない。だがそれだけではまだだめである。モーターに<sup>あぶら</sup>油がなければうまく<sup>かいてん</sup>回転しない。モーター、電気すなわちモーターを<sup>うご</sup>動かす<sup>どうりよく</sup>動力および油があってはじめてミキサーは<sup>かいてん</sup>回転し、そ

こにジュースができる。この際さいのモーターが酵素、これを動か動かす力がエネルギー、モーターの回転じゆんちようを順調にする油がビタミンかんがと考えればよい。そして果物は前述ぜんじゆつした基質きしつ、つまり細胞りようが利用しようとする物質そうつうに相当し、できたジュースは代謝けつの結果つくられた物質すなわち代謝産物さんぶつにあてはまる。

## 生 詞

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 酵素〔こうそ〕（名）   | 酶              |
| 2. 代謝〔たいしゃ〕（名）  | 代谢             |
| 3. 生物〔せいぶつ〕（名）  | 生物             |
| 4. …において（も）…（慣） | 在…方面（也），至于…（也） |
| 5. 生命〔せいめい〕（名）  | 生命             |
| 6. 維持〔いじ〕（名・他サ） | 维持             |
| 7. 生存〔せいそ（ぞ）ん〕  |                |
| （名・自サ）          | 生存             |
| 8. 发育〔はついく〕     |                |
| （名・自サ）          | 发育，成长          |
| 9. 増殖〔ぞうしょく〕    | （生物的）繁殖，加増，    |
| （名・自他サ）         | 増多             |
| 10. 活動〔かつどう〕    |                |
| （名・自サ）          | 活动，工作          |

- |                               |               |
|-------------------------------|---------------|
| 11. …による… (慣)                 | 由依赖于…的, …所致的  |
| 12. それぞれ [其れ其れ]<br>(名・副)      | 分別, 各, 各个, 每个 |
| 13. 反応系 [はんのうけい]<br>(名)       | 反应系           |
| 14. そのもの (慣)                  | 本身            |
| 15. …における… (慣)                | …方面的          |
| 16. 関連 [かんれん]<br>(名・自サ)       | 关联            |
| 17. 直接間接 [ちよくせつかん<br>せつ] (形动) | 直接间接          |
| 18. 利用 [りよう]<br>(名・他サ)        | 利用            |
| 19. 基質 [きしつ] (名)              | 基质            |
| 20. 簡単 [かんたん] (形动)            | 简单            |
| 21. くみあわせる [組合わせ<br>る] (他下一)  | 组合, 搭配, 配合    |
| 22. 自分自身 [じぶんじしん]<br>(名)      | 自己本身          |
| 23. 補修 [ほしゅう]<br>(名・他サ)       | 修补, 补修        |
| 24. 過程 [かてい] (名)              | 过程            |
| 25. わける [分(別)ける]              |               |

(他下一)	分类, 分别; 分开
26. 合成〔でうせい〕	
(名・他サ)	合成
27. 大腸菌〔だいちょうきん〕	
(名)	大肠菌
28. アンモニウム [ammonium] (名)	铵
29. ブドウ糖〔葡萄とう〕	
(名)	葡萄糖
30. 多少〔たしょう〕	
(名・副)	多少, 少量; (副)多少, 稍微
31. 加える〔くわえる〕	
(他下一)	加, 添
32. ごく〔極〕 (副)	极, 非常
33. 培地〔ばいち〕 (名)	培养基
34. まったく〔全く〕 (副)	完全
35. 前者〔ぜんしや〕 (名)	前者
36. 窒素〔ちっそ〕 (名)	氮
37. 後者〔こうしや〕 (名)	后者
38. 炭素〔たんそ〕 (名)	碳
39. …をもとにして… (惯)	以…为基础
40. 作用〔さよう〕	
(名・自サ)	作用, 起作用

41. 単独〔たんどく〕（名） 单独，独自
42. 進行〔しんこう〕  
（名・自他サ） 进行，进展
43. ミキサー〔mixer〕（名） 搅拌器，搅拌机
44. シューズ〔juice〕（名） 果汁
45. 通じる〔つうじる〕  
（自他上一） 通，相通；使理解
46. モーター〔motor〕（名） 发动机
47. だめ〔駄目〕（名・形动） 无用，无望
48. 油〔あぶら〕（名） 油
49. 動かす〔うごかす〕  
（他五） 动，移动，开动
50. 順調〔じゅんちょう〕  
（名・形动） 顺利
51. ばよい（いい）（惯） 可以，只要…就行
52. 前述〔ぜんじゆつ〕  
（名・自サ） 上述，前述
53. あてはまる〔当嵌る〕  
（自五） 适用，合用，恰当

## 语法

### 惯用型概述（1）

——意义、接续、分类